

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (平成 28 年度)

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	12	25	日	8 : 30	12 : 30	第一住宅坂戸団地集会所	5
活動名称	一二三富の会「門松教室」：門松造りの指導					報告者：佐野	

<主な活動内容>

○ 一二三富の会が主催する「門松教室」で門松の製作を指導した。

○ 今後のために概要を示します

* 12 / 4 (日) : 五味ヶ谷で竹材切断、約600本 (杉下、坂戸の合計)

坂戸から二名の応援を得た。

* 松320本、南天120本手配 (吉井さん)

* 12 / 19 (月) : 梅の枝を採取 (坂戸檜林)

* 12 / 24 (土) : 竹材を坂戸に運搬

逆木で松、南天、丸鋸、竹切り台、竹用手鋸その他を軽トラに

積み込み、軽トラは吉井さんの自宅に。

* 12 / 25 (日) : 8 : 30教室開始

13 : 30終了

吉井さんはその後、一二三富の会の会員の門松作製を指導。

@ 終了後の反省会の話題その他気がついたことを記します。思いつくまま。

・開始時間が早くなるが、午前中に終わるのは良い。午後の時間が有効に使える。

・門松の作り方は「ビラ」(5枚ほど)で説明した方がよい。子供たちだけでなく、保護者も説明がよく聞き取れてない。また、人の話を聞いていない。

・初めの竹材6本の選択は全員が一度に始めると怪我をしそうである、何回かに分けたほうが良い。

・松、縄などの材料の一組あたりの必要量をビラにしていたのは良い。

・「男結び」が人気であるが、他の結び方も例示したら良い。

・竹切り台が足りない。現在の倍あっても良い。

・12 / 23では鋏の切れが悪かった。キッチンバサミが良いかな。

・縄の太さは、2.5分がつかいやすい。

・坂戸教室では工具、材料などの準備が良くできていた、参考にしたい。前日二時間かけたとのこと。

・切断した竹材の保管方法に工夫が必要。12 / 23は、濡れた竹材、変色した竹材が多かった。ブルーシートのかけ方か、保管場所か。直前に切るようか。

・参加者のグループに一人の専任の指導員が付いた方が良い。里山クラブでは人数が足りないかも。

・竹はささくれてないほうを上にするように指導する。

・完成したら感想含め自己紹介をさせるのも勉強になるかな。

<山参加会員>

吉井、小沼、牛島、上見、佐野英